

ものづくりの魅力伝える

小学生向け出前講座開く

日建協

日本建設産業職員労働組合協議会（田中宏幸議長）は21日、「小学生向け出前講座く土曜学習応援団」を埼玉県久喜市の久喜東小学校で開催した。写真。同講座は「幼少期にもものづくりの魅力に

前講座には3年生から6年生までの生徒計12人が参加した。講座では、生徒達が班ごとに分かれて簡易な設計図を作成し、ストローククリップだけでストロークハウスを作成。「高さ」「美しさ」「強さ」を競った。

日建協は「（ストロークハウスづくりを通し）建設の仕事のやりがいや大切さを感じてもらえたらうれしい。今後も出前講座のみならず、子供たちに建設の仕事を伝える取り組みを通し、産業の魅力向上を図っていく」としている。

触れることが重要」との考えに基づき、文部科学省の「土曜学習応援団」の取り組みに賛同する形で今年度から実施。同小学校の放課後子供教室である「さくらっ子ゆうゆうプラザ」の10周年記念特別講座「キッズニアインさくらっ子」に日建協を含む計6団体が講座担当者を派遣。日建協の出

2015年11月26日（木）
建設産業新聞

